

④学校防災マニュアルの見直し・改善に関すること (学校防災マニュアル見直し・改善のための検討会の実施等)

令和元年防災管理研修会

地震・津波に関する危機管理マニュアルの改善及び検証サイクルの確立について説明。

学校防災マニュアル点検項目

No	チェック項目	参照ページ
事前の危機管理（備える）		
1	以下の項目を学校防災年間計画に示しているか	P4~P5、P7、P32
	① 防災教育（防災学習・防災指導）の内容について	
	② 避難訓練の実施について	
	③ 防災に関する教職員研修について	
	④ 保護者や地域、自治体と連携した体制について	
2	地震による非構造部材等の落下・転倒・移動防止などの防災の視点を安全点検項目に盛り込んでいるか。	P6、P33~P73
3	災害発生時の対策本部の役割と業務内容を明確にしているか	P8~P11
4	災害発生時の教職員の動員体制を明確にしているか	P12
発生時の危機管理（命を守る）		
5	在校園時、登下校・登降園時、校園外活動中、在宅時の対応行動を示しているか	P14~P18
事後の危機管理（立て直す）		
6	安否確認、引き渡しの基準及び安否確認方法を明確にしているか	P19~P21
7	自校が避難所になった場合の協力マニュアルを示しているか	P22~P23
8	心のケア体制と教職員の役割について示しているか	P24~P25
9	学校再開に向けての取組を示しているか	P26



改善及び検証サイクルの確立

【通常】見直し・改善のポイント



- ①人事異動等による分担や組織の変更はないか。
- ②施設・設備や通学路、児童生徒等の状況に変化はないか。
- ③地域や関係機関との連携に変化はないか。
- ④防災避難訓練、研修会等の図上訓練（卓上訓練）で、問題点や課題の発見はなかったか。
- ⑤他校の事例や社会情勢の変化等から、自校に不足している項目はないか。



作成・見直しの手順

例：学校運営協議会や学校保健会と共同で開催するなど。

■管理職、防災主任などが中心となって作成する

- ※各学校の状況や地域の実態等を踏まえる。
- ※自治体が作成したマニュアル等を参考にする。
- ※全ての職員が関わるよう分担して作業をする。

■防災マニュアルの見直しを行う

- ※教職員の人事異動に伴う学校環境の変化
- ※地域の道路状況、その他の環境の変化
- ※先進校の事例や社会情勢の変化等から自校に不足している点

■評価で明らかになった課題に対して対策を講じる

- ※学校だけで解決できない課題は関係者に協力・支援を要請する。
- ※訓練等を保護者や自治体と合同で行うことは、理解を得ることにもつながります。

■地域学校安全委員会等でマニュアルの内容について協議する

- ※自治体の防災担当課や専門家の協力を得る。
- ※地域の関係行事等との調整を図る。

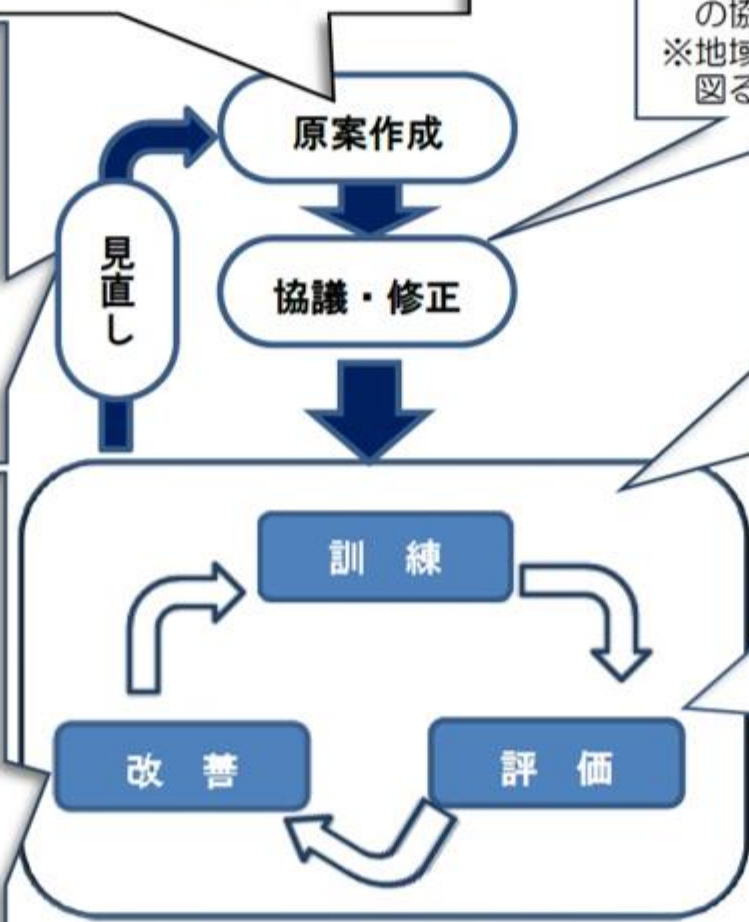
■マニュアルを元に実際に訓練等を実施する

- ※季節や天候等の条件を勘案した複数回の訓練が必要。
- ※専門家（消防署等）から指導助言を受ける。

防災士、市町村防災担当部局など

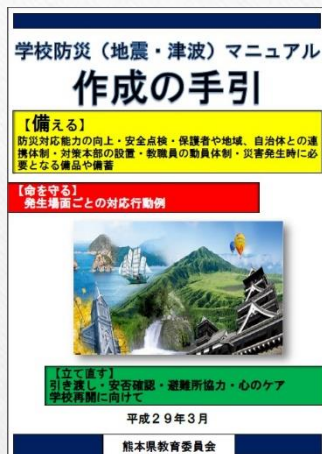
■訓練を振り返り、成果や課題等を明らかにする

- ※全ての教職員の意見や気づきを反映する。
- ※児童生徒等や保護者、地域住民からのフィードバックも重要



見直しや改善に役立つ資料

学校防災（地震・津波）
マニュアル作成の手引
（県教委：平成29年）



熊本地震を踏まえた手引
URL:<https://www.pref.kumamoto.jp/site/kyouiku/9097.html>



学校の危機管理マニュアル作成の手引（文科省）



URL:https://anzenkyouiku.mext.go.jp/mextshiryoudata/aratanakikijisyoun_all.pdf



「生きる力」をはぐくむ学校での
安全教育
（文科省：平成31年）



URL:https://anzenkyouiku.mext.go.jp/mextshiryoudata/seikatsu03_h31.pdf

